

社会資本総合整備計画 事後評価書(案)

計画の名称	茨木市における総合的な下水道整備の推進(その2)												
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	茨木市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	332	A	332	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	特定環境保全区域内における人口普及率を当初:65.1%(H27)から97.4%(H31)に増加させる。【当初:65.1%(549人/844人)から97.4%(838人/860人)】			
	特定環境保全区域人口普及率	65%	96%	97%
	下水道を利用できる人口(人)／総人口(人)【当初:65.1%(549人/844人)から97.4%(838人/860人)】			
2	下水道処理人口普及率を当初:99.2%(H27)から99.4%(H31)に増加させる。【当初:99.2%(278,386人/280,524人)から99.4%(290,670人/292,400人)】			
	下水道処理人口普及率	99%	99%	99%
	下水道を利用できる人口(人)／総人口(人)【当初:99.2%(278,386人/280,524人)から99.4%(290,670人/292,400人)】			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
定量的指標②下水道処理人口普及率の現況値及び目標値は、現況値99.2%(H27当初)、中間目標値99.4%(H29末)、最終目標値99.4%(H31末)である。												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	茨木市	直接	茨木市	管渠（ 污水）	新設	中央処理区污水管渠整備 事業（公共下水道）	L=2330m φ200～800 開削・ 推進・実施設計	茨木市	■	■	■	■	■	256	—	—
	A07-002	下水道	一般	茨木市	直接	茨木市	管渠（ 污水）	新設	中央処理区污水管渠整備 事業（特定環境保全公共 下水道）	L=560m φ200 MP1基設置 開 削	茨木市	■					30	—	—
	A07-003	下水道	一般	茨木市	直接	茨木市	管渠（ 污水）	新設	高槻処理区污水管渠整備 事業（公共下水道）	L=340m φ200 開削	茨木市					■	46	—	—
小計																	332		
合計																	332		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

茨木市建設事業評価委員会（外部有識者）

事後評価の実施時期

令和3年1月

公表の方法

茨木市のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

污水管整備により下水道処理人口普及率が向上し、下水道の利用により生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全が一定図れた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き污水管整備及び未接続家屋への接続切替促進、公設浄化槽の整備促進に努め、生活排水処理の推進に取り組んでいく。

- ・未普及箇所への污水管整備
- ・彩都東部地区土地区画整理事業の進捗にあわせた周辺污水幹線の整備

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	特定環境保全区域人口普及率	
	最終目標値	97%
	最終実績値	79%
2	下水道処理人口普及率	
	最終目標値	99%
	最終実績値	99%